

秋吉台

小春日和の青い空

今月は急に冷え込み、霰が降ったり雪が舞ったりして不安定な天候が続きましたが、その合間には小春日和の暖かい日がありました。秋吉台上も目にしみるような青空が広がって、気分も爽快です。秋の花もすでに咲き終わって、ススキの白い穂がユラユラと招いているようにも思えます。夕日に輝くようなススキも見頃でしょう。が、一点の雲もない青空も良いでしょうが、やはり空には一片二片の白い雲がある方が風情のある景色になるようです。



季節の花

タデ食う虫も好き好き 花も好き好き

シュウメイギク 菊に似た花を咲かせる多年草です。古い時代に中国から入ってきたと考えられています。毎年見ているのは、林の中の石灰岩のまわりです。薄暗い中で咲いている姿は人目につきます。

ヤナギタデ 少し湿気のあるところに生える一年草です。葉が細く柳の葉に似ています。葉を噛んでみると、ピリッと辛味があります。他のタデと見分けがつかないときは、葉を噛んでみたら分かります。タデ食う虫も好き好きの元になったタデです。

ヤマラッキョウ 山地などに生える多年草です。この時期には、枯れた草の間から赤紫色の花がチラホラ見えます。この花が咲くと今年もそろそろ終わりかなという気分になります。



体験学習「美東ゴボウの収穫体験」(11月4日)

体験学習で美東ゴボウの収穫を行いました。子どもたちは、コンボで掘った深い溝の中へ入って長いゴボウを引き抜きます。ゴボウが長すぎてなかなか抜けませんが、途中で折れないように手で掘ります。その後、生産農家の堀田さんから美東ゴボウについての歴史や美味しいゴボウの食べ方、見分け方などのお話を伺いました。今日の夕食には、自分で収穫した美味しいゴボウの料理を楽しむことができるでしょう。



観察会「冬眠中のコウモリを見る」(11月26日)

コウモリの観察会「冬眠中のコウモリを見る」を行いました。はじめに講師の松村先生からコウモリの生態などについて興味深いお話を聞いた後、三角田洞に入って実際に観察しました。入口付近ではあまり見られませんが、洞の奥に行くにしたがって冬眠中のコウモリをたくさん見ることができました。ほとんどがキクガシラコウモリでしたが、中には石灰岩の狭い隙間にモモジロコウモリも見られました。今回の観察会では、2種類のコウモリを確認できました。



ホトケ/ザ

春の七草の一員ではありません!?

荒地や畑、どこにでも生える越年草。春の花と思われがちですが、前年の秋にはすでに咲いています。今年は10月頃には咲いているのを見かけました。春に見るよりもきれいに思いましたが、これが春には迷惑なほどはびこるのです。取っても取っても、次から次へと生えてきます。名前の由来は、茎のまわりを囲んだ葉が仏像の蓮座を思わせるので名付けられました。春の七草のホトケノザは、これではなくコオニタビラコです。



12月の行事

12月10日(日) 体験学習「クリスマスリース作り」
いろいろな材料を使ってクリスマスリースを作りましょう。